

4. 教育

(ア) 5年生地域医療実習

① 概要

一般医学科生に対しては平成22年度よりクリニカル・クラークシップの一環として必修の地域医療実習を開始致しました。5年生99名全員が2名ずつに別れて庄原赤十字病院、安芸太田病院、神石高原町立病院のいずれかで4泊5日の現地泊り込みの実習を行いました。4月に講座が設置され、5月より実習開始という突貫工事となりましたが、各院長先生やスタッフの方々には大変ご尽力いただきました。外来実習、看護体験、診療所見学、在宅訪問、高齢者施設見学、1次救急、ケアカンファランス等々、文科省のモデル・コア・カリキュラムを参考に、各病院の特徴をだしたプログラムを作成していただきました。宿泊や食事の面倒まで見ていただきました。我々スタッフも丸投げとにならないように週2回現地に赴き学生教育に携わりました。広島県においては新たな試みということで、テレビ4局、新聞3社、雑誌1社に報道され、その都度学生たちがすばらしいコメントを発していたことには驚きました。より充実した実習に発展できるよう、全国の地域医療関連講座と情報交換しながら工夫を重ねていきたいと考えております。

病気だけでなく、人を見ていた

広大医学部生、過疎地の病院で実習



「気持ちの病気が、検査したら肺炎の出ているみたい。内科の宮本真樹人暮らしの高齢の親類に説明して、一人暮らしの生活にアドバイスをしている。宮本医師が患者の話を聞きながら、安芸太田病院の院長と話をしている。」

宮本医師が患者の話を聞きながら、安芸太田病院の院長と話をしている。

過疎地の医師定着へ初の試み

現場体験やりがい醸成



受け入れ側も相乗効果期待

「現場体験は、医師の定着に大きく貢献する。現場での実習は、医師の定着に大きく貢献する。現場での実習は、医師の定着に大きく貢献する。」

過疎地域で体験実習

広大医学部が初 医師定着目指す



「現場体験は、医師の定着に大きく貢献する。現場での実習は、医師の定着に大きく貢献する。」

マスコミ報道

・テレビ局 4局
・新聞 3社
・雑誌 1社

② アンケート結果概要

学生へのアンケート調査結果は概して好評でした。100%の学生がこの実習により地域医療をよりよく知ることができたと評価し（図1）、実習前後で比較すると37%が地域医療に興味が増し（図2）、27%が将来地域医療に従事する意向が増加しました（図3）。地域医療へのポジティブなイメージとしては、「全身を診る事」「患者との距離の近さ」「自分が必要とされている事」「地域に出ていく医療」であり（図4）、ネガティブなイメージとしては、「最先端の医療ではない事」「専門性が身につかない事」「ソロプラクティス」「田舎暮らし」でした（図5）。有意義であった実習項目としては、病院外来実習、往診実習、福祉施設見学、診療所外来実習、病棟実習の順でした（図6）。大学病院では経験できないような体験や感動があるものと思われまます。



図1

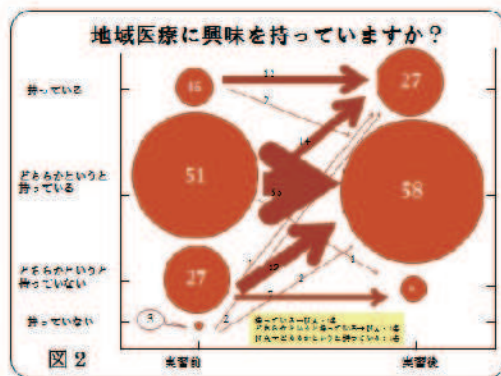


図2

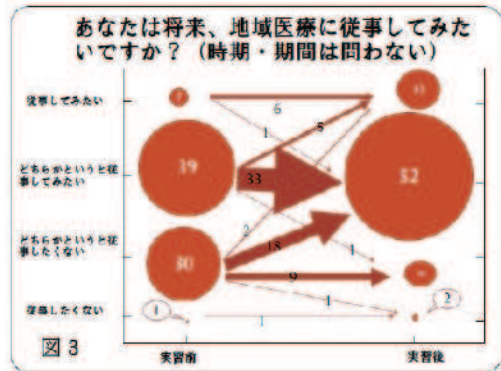


図3

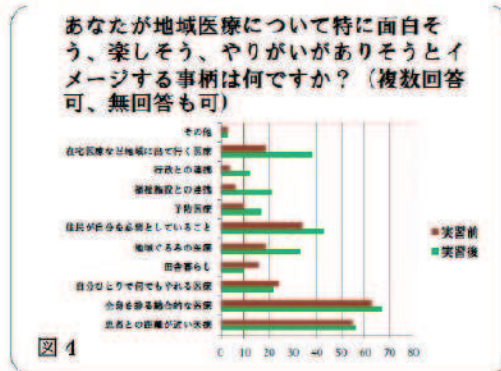


図4

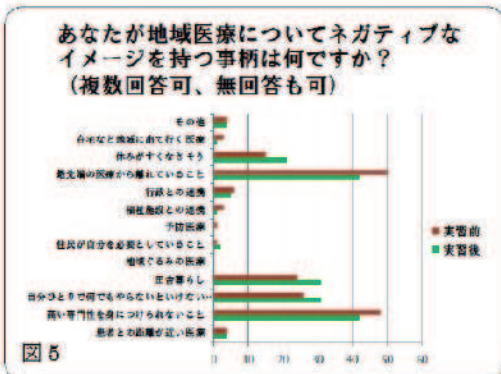


図5

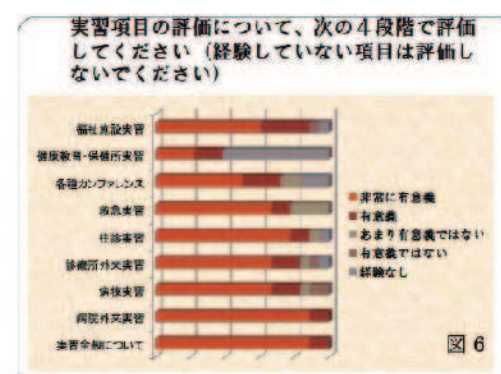


図6

(イ) その他の一般学生教育

① 6年生/4年生講義

平成22年4月に6年生を対象とした臨床実践学講座において、「こんな人たち地域医療に集合!」というタイトルで、プライマリ・ケア/総合診療/地域医療について、広島県および日本の地域医療の状況、医師の偏在などに関する講義を1コマ行いました。また、4年生に対しては、臨床実習入門プログラムにおいて、同様な内容と地域医療実習に関する講義を2コマ行いました。なお、来年度からは3年生に対してこれらの講義を器官・システム病態制御学の中で3コマ実施する予定です。

② 4年生公衆衛生学実習

平成22年9月～10月、公衆衛生学実習の担当講座（公衆衛生学教室と共同）として医学科4年生2名を受け入れ、研究指導を行いました。学生2名はウェブ上に公開されている厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」および「患者調査」のデータを使って、広島県内の地域別・診療科別の医師数の推移を分析しました。この実習後、データを厚生労働省から取り寄せた「医師・歯科医師・薬剤師調査」の個票データに置き換え、さらに分析の精度を上げ、当講座の研究「広島県の医師分布に関する研究」（後述）として発展させました。

③ 4年生チュートリアル

医学科4年生全員に行うPBLチュートリアルの担当講座となり、シナリオ作成、チュートリアル実施監督、中間発表のとりまとめ、最終講義、レポート評価を行いました。また、他講座担当のシナリオでは竹内、松本がチューターとして参加しました。

④ 4年生医療面接実習（OSCE）

医学科4年生の臨床実習入門プログラムにおいて、総合診療科とともに医療面接実習に関わり、共用試験（OSCE）を担当しました。

⑤ 1年生医療行動学

医学科1年生を対象に医療行動学実習を5名ずつ2回実施しました。大学病院外来を患者の立場で移動して動線を確認し、患者受療行動や地域医療について話し合いました。